

第7回 11月17日(土) 15:00~

情報爆発

—知的活動を支援するIT—

最近、我々は膨大な情報の洪水に飲み込まれようとしています。このままでは、知の創生からかけ離れてしまいます。このような状況を危惧して「情報爆発」という言葉が使われるようになりました。

また、溢れる情報の中、ビジネスや研究等の場において検索に要する時間が、全仕事時間の30%を占め、75%の人々が、何か知りたいことがあると家族や友人に尋ねるよりウェブに頼るという調査結果が出ています。その中で、個人の嗜好に応じた内容を自動的に提供する技術が研究されています。それをコンテキスト・アウェアネス環境と呼んでいますが、この環境下では自分に関する情報のみが提供され、それ以外は、無用のノイズのように扱われることとなります。しかし、知的活動では、ノイズが重要であり、そこから啓発される場合も多く、知的活動を支援するITを考えるとノイズが載っている方が結構いいのではないかと思います。

情報爆発の時代、インターネットの情報活用等について幾つかの観点からお話をしてみたいと思います。

講師 宮原 秀夫 氏

((独) 情報通信研究機構理事長)

略 歴 :

昭和42年	3月	大阪大学工学部通信工学科卒業
昭和44年	3月	大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻修士課程修了
昭和48年	1月	工学博士(大阪大学)
平成元年	10月	大阪大学基礎工学部教授
平成10年	4月	大阪大学大学院基礎工学研究科長・基礎工学部長
平成14年	4月	大阪大学大学院情報科学研究科長
平成15年	8月26日	第15代大阪大学総長(平成19年 8月25日まで)
平成19年	9月 1日	(独)情報通信研究機構理事長

専門分野: 情報ネットワーク

受賞等:

平成 9年	IEEE(米国電気電子学会)フェロー
平成14年	情報処理学会フェロー
平成14年	電子情報通信学会フェロー
平成14年	第6回エリクソン・テレコミュニケーション・アワード
平成15年	総務大臣表彰

主な著書:

- 「インターネットがもたらすマルチメディア社会」 宮原秀夫, 村田正幸著;
大阪大学創立70周年記念出版実行委員会編集 /大阪大学出版会 H.13 出版
- 「コンピュータネットワーク」 宮原秀夫, 尾家祐二著 /共立出版 H.11 出版